

人間関係づくり実践モデル事業 報告書

学校名（岩国市立岩国西中学校）

1 学校の概要

本校は、平成10年度に天尾中学校・北河内中学校・河内中学校の3校を統合して新しく開校した。そのため、校区は大変広く、生徒の登下校は徒歩・自転車通学はもちろん、バス通・列車通・タクシー通学と多様である。

開校1年目は校舎と特別活動室の完成後、各校から備品を持ち寄り開校され、1年生は岩国西中のブレザータイプの制服、2・3年生はセーラー服に学生服姿で登校する中、正門・自転車置き場・プール・体育館・花壇と施設・設備が整えられていった。

開校当時の生徒数は、全校生徒153名であったが、平成18年度は80名となり、毎年減少の一途をたどっている。しかしながら、保護者や地域の学校に対する関心は非常に高く、行事にも協力的である。また、生徒一人ひとりは大変純朴、素直で、部活動・生徒会活動をはじめ、錦川清掃ボランティアや地域の活動などに熱心に取り組んでいる。

この地域は、県東部の錦川沿線に位置し、豊かな歴史と温暖な気候に恵まれ、南河内地域では菜の花フェスタ、二鹿地域では石楠花マラソン大会が行われ、行波地域では国指定の重要無形民族文化財の行波の神舞が伝承されている。秋には、本校周辺は豊かに実った金色の稲穂に囲まれる。

2 生徒の実態と事業の必要性

生徒の男女比は、男子が女子を上回ることが比較的多く、男女比2：1という年もあった。校区内には3つの小学校があり、いずれも小規模校で1校は複式学級を有している。

そのため、入学当時は生徒同士かなり緊張し、自分の気持ちをうまく伝えられず、けんかをしたり、女子と男子で折り合いがつきにくかったり、スタート時にはよく生徒間の衝突が起こっていた。

このような状況の中、生徒数が少ないにもかかわらず、不登校の生徒が多くなったこともあり、教職員が、人間関係づくりの手法を学ぶことにより、生徒自身が集団の中で、よりよい人間関係をつくっていこうという意識をもつ契機になることを願い、平成16年度に『人間関係づくり実践モデル事業』の指定を受けることとした。

実践にあたって3年間、鈴峯女子短期大学助教授 森洋介先生の指導助言をいただくこととなった。森先生には、1年に5回本校に来校していただき、構成的グループエンカウターの基本理念や、研究授業に関して、ご指導いただいた。



3 取組の紹介

【1年次】

(1) 具体的な取組内容

1年次は、まず、私たち教職員が構成的グループエンカウンター（SGE）を知ることからスタートし、その手法を学ぶことに重点をおいて研修を進めていった。そして、SGEの手法を学びながら、学んだことを生かして、授業の中で、できることから始めてみようという考え方で授業研究を実施した。



1年次の取組の概要は、以下のとおりである。

月日	内容	授業者等
6月14日(月)	構成的グループエンカウンターの基本理念の習得 ・講義及びSGEのエクササイズ演習	森先生より受指導
7月26日(月)	構成的グループエンカウンターの演習 ・本校教諭をリーダーとし、教師が生徒の役割を務めてのエクササイズ演習、及び受指導	森先生より受指導
11月8日(月)	3年学級活動 「魔王の関所」 <資料1> ・研究協議及び受指導	3年担任
2月21日(月)	1年英語 ・研究協議及び受指導	3年副担任、1年担任 (英語科TTによる)
3月3日(木)	1年次の取組の反省・次年度に向けての協議	森先生より受指導

<資料1> 3年生 学活 学習指導案 <本時案のみ>

1 ねらい

自己理解と他者理解を深め、それが温かな人間関係づくりにつながることを体感させる。

2 指導過程 <紙面の都合により、中心となるエクササイズのみ>

学習内容・学習活動	教師の支援・手だて	生徒につけたい力
エンカウンターの方法、ルール等を理解する。 ・ エクササイズ①～③ ・ エクササイズ④「魔王の関所」 ③のグループの中で、魔王班と人間班の二つの班に分かれる。魔王は人間に、自分の嫌な	・ 教師が説明する。 ・ 教師が説明する。 ・ 魔王班の皆で話し合うことで、一人では発言しにくい生徒の思いを引き出させる。	・ 肯定的な自己概念を育成する。 ・ 自分では気付かなかった自分の能力や可能性を発見する。

<p>性格を言うように求める。人間は自分の短所を魔王に言う。魔王はその短所を長所に変えて人間に突き返す。長所に変えられなければ、魔王の負けとなる。</p> <p>役割交代 シェアリング</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の短所を自分の中で整理して考えることの大切さに気付かせる。 ・ 短所は見方を変えれば長所でもあると気付くことの喜びを実感させる。 ・ 教師が振り返りを行う。 ・ お互いの気づきを話し合わせる。 ・ 印象に残ったことや、みんなにも伝えたいと思うことを発表させる。特に、言われてうれしかった魔王の言葉を出させたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己理解と他者理解を深め、そのことが温かい人間関係づくりにつながることに気付く。
--	---	--

(2) 1年次の成果と課題

構成的グループエンカウンターとは、人間関係をつくること、人間関係を通して自他の発見や理解をすることを目的とした、集団体験学習のことである。具体的にどのような方法で、人間関係をつくり自他を発見していけるのか。それはエクササイズによってである。



エクササイズとは、参加者の思考・感情・行動にゆさぶりをかける演習課題のことである。

教育活動として行うわけであるから、そこには当然ねらいがある。エンカウンターのねらいものは、①自己理解、②自己開示、③自己主張、④他者受容、⑤信頼感、⑥役割遂行の六つである。このねらいのどれを中心にして、どのようなエクササイズを取り入れるのかを明確にして、授業を構築していく。つまり構成的に仕組んでいくわけである。

構成的グループエンカウンターにおいて、何よりも重要なことは、シェアリング（振り返り）である。エンカウンターのめざすものは、「ふれあいと自他の発見」である。エクササイズによってふれあいが起こり、シェアリングを通して、生徒の思考・感情・行動が変容していく。エクササイズはきっかけであり、シェアリングによって「分かち合い・思いやりの心」が生まれてくるということが分かってきた。また、エンカウンターには、こうでなければならないという決まった形があるのではなく、教師が自分の個性を生かしながら実践していけばよいのだということにも気付いた。

各自がもっている力を引き出すことの大切さ、生徒や保護者への言葉かけにもっと考慮があること、教師自身の心の開示が必要であることなど、多くの気づきに出会った一年であった。

エンカウンターのめざす「本音と本音の交流」ということを、日々の生活の中で実践していくために、生徒の活動に対して「とても上手だね」と評価するだけでなく、「ジーンときたよ」と感想が言える教師でありたいと考えるようになった。

【2年次】

(1) 具体的な取組内容として

2年次は、全教員が構成的グループエンカウンター（S G E）の手法を取り入れた授業研究を行い、それを広く公開していくことにした。まず、やってみること、そしてそこから多くの学びと自分自身を含めた「変容」を感じ取っていきたいと考えた。



また、岩国市教育委員会の松本指導主事の助言により、人間関係づくりの取組が計画的、継続的に行われるよう、実践を踏まえながら年間指導計画にまとめていくこととし、以下の目標のもと、研究を進めた。

- 目標
- 1 1年生を対象として、全教職員がさまざまな領域でS G Eの活動を取り入れていく。
 - 2 人間関係づくりの授業研究を全教員が実施する。
 - 3 人間関係づくりを目的とした活動の年間計画の作成をめざす。

上記の目標のもと、まず、1年生を対象に学活だけでなく教科等で実践していった。しかし、他学年の生徒たちからうらやむ声があがり、2・3年生でも行うこととした。

年間の研修会は、森先生をお招きして5回にわたり、以下のように行った。

日時	内容	授業者等
8月10日(水)	総合的な学習の時間の研究 西中祭の実行委員会をモデルに	2年副担任(英語)
11月7日(月)	1年学級活動「トラストウォーク」	1年担任(音楽・家庭) 河内小より2名参加
12月26日(月)	「学年末と年度始めの効果的なエクササイズについて」	森先生より受指導
1月26日(木)	1年英語 <資料2> Unit 8 旅立ちの日	2年副担任(英語)
2月27日(月)	研究協議 今年度の反省と来年度への課題	森先生より受指導

上記以外にも、以下の校内授業研究、小学校との連携を図る授業参観を行った。

日時	内容	授業者等
11月7日(月)	河内小学校授業参観(6年道徳)	本校より4名参加
12月13日(火)	3年学級活動「面接の方法」	1年副担任(国語)
1月31日(火)	1年学級活動 「向いているのはどんな人」	3年学級担任(数学)
3月22日(水)	2年理科 人間関係づくりを授業で活用する	3年副担任(理科・体育)
3月23日(木)	2年学級活動 「君のいいところ教えてあげる」	2年学級担任(社会・技術)

<資料2> 2年生 英語 学習指導案 <本時案のみ>

(1) 本時の目標

- ・ ものがどこにあるのかを尋ねる表現やそれに答える表現を積極的に使おうとすることができる。 <コミュニケーションへの関心・意欲・態度>
- ・ 疑問詞 **Where...?**を用いた疑問文と応答の形・意味・用法を理解し、それらを用いて、ペアで簡単な対話をつくることができる。 <表現の能力>

(2) 本時の流れ

段階	時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点
ウォームアップ	2分 18分	<ul style="list-style-type: none"> ○ Greetings ・ 英語で挨拶をしよう。 ○ Warm-up (ペア活動1)「単語ものしりパート1」 ・ 既習事項を使って、簡単なゲームをしよう。 ・ 相手の活動に関して、簡単なメッセージを書いて渡そう。 (相手の活動に対して"Very good."などの言葉がけを行って、相手とのつながりを深めるように渡すことを心がける。) ・ 結果を「英語ポイント表」に記入しよう。一番度合いが高かった上位3人に、ポイントを2つプラスして与える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英語学習の雰囲気をつくる。笑顔を大切にしながらの挨拶に心がける。 ・ 教師が簡単なゲームの説明をする。既習事項の単語を使い、学習内容を思い出す。 ・ カードを渡す際に、Unit 5で習った、"Here you are." "Thank you."の言葉かけとアイコンタクトを呼びかけておく。 ・ 積極的に活動に参加できるよう呼びかける。
エクササイズ	15分 20分	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文の内容理解と音読練習 ・ DVDを見て、分かったことを発表しよう。 ・ 日本語で内容を理解しよう。 ・ 本文を練習しよう。 ①教師の後についての音読→②個人読み →③教師と生徒のモデル →④ペアワークでの音読 (reading card 記入) (ペア活動2) →⑤全体 (コーラス) での音読 (仕上げ) (教師の机間巡視) ○ 「旅立つ日」の会話を参考に、旅の道具を用いた対話作成 (ペア活動3) ・ 状況説明をして、旅立つ人が出発日に忘れ物がないように点検している場面を想像しながらつくっ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書準拠の DVD を用いて、今日の対話の概要を把握させる。 ・ 音読場面では、①と②で全体の音読の調子をつかみ、個人指導をする。④は、アイコンタクトをできるだけしながら行うように呼びかける。 ・ ペアになった人と一緒に旅の道具や身の回りのものを用意して、簡単な対話をつくらせる。

	<p>てみるように勧める。</p> <ul style="list-style-type: none"> 辞書も必要であれば、使用するよう勧める。 <p>○ 対話の発表（ロールプレイ）</p> <ul style="list-style-type: none"> 対話発表ができるグループに実際に前に出てロールプレイをしてもらう。 できるだけ身振り手振り（ジェスチャー）をつけて表現するように促す。 発表したペアのどんなところがよかったか振り返らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 発表できるペアは、できるだけ原稿を見ないで言うことを勧める。 見ている生徒には、ロールプレイの発表の感想用紙に記入して評価させる。
5分 シェアリング	<p>○ 今日の授業の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業で感じたことや考えたことを振り返りシートに記入させる。 <p>○ 本時のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> 英語はコミュニケーションを主体とする教科なので相手と1対1で話したり、複数の人と話したりすることが多い。その会話を大切にして、しっかり表情を付け加えることで、その場面をさらに盛り上げることができる。今後の授業でもそのような状況を意識していけば、いろいろなところで役に立つことは多いと言える。英語の授業ではこれからも、それを意識して、自分と相手とのかかわりを大切にしたい。 <p>○ 次時の予告</p>	<ul style="list-style-type: none"> 今日の活動を振り返り、特にペアで活動したことに着目させ、その気持ちを素直に書くようにさせる。 次回の予告をする。

(2) 2年次の成果と課題



平成17年度は、大変多用な中、「全教員で取り組む授業研究」という目標が達成された。どの教師も、授業の中にグループエンカウンターの手法をどのように取り入れて、どう生かしていくかなど、試行錯誤を重ねながら授業研究を行った。

不登校の生徒が全くいなくなったとは言えないが、かなり減少していることに気付き、日々の実践が人間関係づくりに効果があったのではないかと考える。

課題としては、目標3の人間関係づくりを目的とした活動の年間計画の作成はできなかったのもので、岩国西中学校の学年ごとの年間計画を作成したい。

森先生との校内研修会では、人間関係づくりは、エンカウンターをすることが目的ではなく、「本音と本音の交流」をすることが大切であることについて、ご指導をいただいた。子どもたちからあふれ出してくるものを引き出すように、「シンプルな仕掛け」「自然なシェアリング」をめざしたい。

【3年次】

(1) 具体的な取組内容

「人間関係づくり実践事業」を始めた1年目と2年目は教諭の異動がほとんどなく、そのまま研修を積み上げることができた。しかし、まとめの年となる3年目は、過半数の教諭が異動したため、新たに赴任してきた先生方にも理解してもらおうと今までの取組を振り返りながら、さらに研修を深めていく必要があった。



また、昨年度、年間指導計画の作成ができなかったが、研究指定後も、取組を継続し、さらに効果を上げていくためには、年間指導計画が必要になる。

そこで、以下の目標のもと、研修を進めていくこととした。

- 目標 1 全教職員がさまざまな領域で構成的グループエンカウンター（SGE）の活動を取り入れていく。
- 2 人間関係づくりの授業研究を全教員が実施する。
- 3 人間関係づくりを目的とした活動の年間計画の作成をめざす。

森先生をお招きしての5回の研修会は以下のように行った。

日時	研修内容	授業者
5月17日(水)	1年学級活動 <資料3> 「学級目標について考えてみよう」	1年担任 河内・杭名小より見学
6月28日(水)	2年学級活動 「友達の勉強法から学ぼう」	2年担任 河内・杭名・天尾小より見学
8月10日(水)	人間関係づくり年間計画案（1年生）の検討 森先生による「おすすめのエクササイズ」の体験	2年副担任 森先生より受指導
11月29日(水)	1年学級活動 「心と体で共感し合おう」	1年副担任 市内中・高校より見学
12月27日(水)	森先生による「効果的なSGE」の体験 人間関係づくり年間計画案（全学年）の検討	森先生より受指導 2年副担任

上記の実践を行うにあたり、小中連携の観点から、第1回の研修会から校区内の小学校に参観を呼びかけた。出席された先生方から、小学校を卒業したばかりの生徒たちの様子について感想をいただいた。

第2回の研修会でも同様に校区内の小学校に参観を呼びかけ、第4回の研修会では岩国地区すべての小中高等学校にも案内をし、高等学校からも先生方の参観をいただいた。

一方、校区内の河内小学校で行われた人間関係づくりの研修会の日には、本校からも参観に努め、小中の研修の連携を深めた。

ここでは、学級活動をエクササイズに見立てて温かなシェアリングが実践された授業を紹介する。森先生から、「特に導入では、リーダー（教師）の自己開示『○○○できるの

を楽しみにしているよ。』という言葉で、生徒は教師の思いを知る喜びから、本音と本音の交流が始まった。」との感想をいただいた。

<資料3> 1年生 学活 学習指導案 <本時案のみ>

- (1) 題材「学級目標について考えてみよう」
 (2) ねらい

同じ事柄であっても、自分の考えと人の考えには相違があることを知り、また他の人の意見を参考に、より向上できるようにする。さらに、学級目標について共通理解を図り、まとまりのある学級集団となるようにする。



- (3) 準備物

くじ 個人プリント3×18 班プリント3×3 画用紙3 マジック3

- (4) 指導過程

分	活動の流れ	指導上の留意点
2	・ 班(席)替えをする。	くじで行うが、男女のバランスは考えないので一人きりになりたくないという生徒、視力の関係で前の方がよいという生徒を把握する。 席を立ち、2人一組で自己紹介をし合う。
3	・ 自己紹介をする。	1分ずつで、好きなものや事柄などを題材にすることを勧める。
7	・ 他己紹介をする。	立ったままで、班となり、相方の紹介をする。
2	・ 感想を述べる。	どんなことでも発言することが大切なことを伝える。
5 10	・ 学級目標に関連して思いつくことや具体的にどうすればよいのかを書く。 ・ 班で、意見交換をし、意見を書いていく。	自由な発想を期待することを伝える。 意見をしっかりもち、説明できるようにするために、学習シートを使用する。 全員の考えを聞いた上で、まとめながら書いていくように指導する。
16	・ 各班で出た意見を発表する。	班の代表者に板書させ、発表させる。 一つの言葉でも、いろいろな解釈や考えがあり、正解はないが、共通理解することは大切であるということを確認する。
5	・ 全体の発表を聞いての感想を発表する。 ・ 振り返りシートに記入する。	話し合いを振り返り、友達との類似点や相違点に気付かせ、認め合う雰囲気大切に作る。 数名に感想を発表させる。 シートを見て、生徒の意識や思いを把握する。

4 3年間を通しての取組の成果と課題

(1) 取組の成果

生徒数が減少する中、平成14年度までは不登校生徒（30日以上長期欠席）は0人だったが、平成15年度に9人になった。何とかしたいとの思いから、人間関係づくりモデル事業に取り組み始めた。取組の1年目である平成16年度に不登校生徒は7人、2年目の平成17年度に3人、3年目の平成18年度は5人（転入生を含む）、と不登校生徒が全くいなくなったわけではないが、かなりの効果があったと思われる。



特に1年生については、構成的グループエンカウターの手法を取り入れた取組を3年間行ってきたことで、新しい出会いのある学年でよいスタートができたと思われる。

教師も、構成的グループエンカウターのエクササイズを意欲的に取り上げようとする中で、シェアリングが大切であること、シェアリングの中で教師が生徒の言葉をとらえてねらいに近づく手法も必要であること、本音と本音の交流の為には、教師自身の自己開示が重要であること、などを学んだ。

(2) 今後の課題

今年度に人間関係づくり年間指導計画を作成したが、まずは、それに従い、各学年で実践を重ね、ねらいを達成するにふさわしい活動であったか、適切な実施時期であったか等について、学期ごとに振り返り、必要に応じて、改善していく必要がある。その際、一人ひとりの生徒がよく見える学校なので、その年の生徒の発達段階や集団の実態等にふさわしいエクササイズがあれば取り入れ、年間指導計画をよりよいものにしていきたい。そうすることで、自分の思いを素直に表現でき、友達のよさや頑張りに気づき、認めあうことができる生徒を育てたい。

また、構成的グループエンカウターの手法に関する書籍等を参考にして、エクササイズの実践を行うには、多くの準備が必要である。多用な学校生活の中で、このことを行うのは難しい面も多いが、教師自身のスキルを高め、来年度以降も、その経験を積み重ねることで、リーダー（教師）はもちろん、多くの生徒たちが自分に自信をもち、生き生きと生活できるようにしていきたい。そのことが、本校のチャレンジ目標「感謝の心で全員登校」の実現につながると確信している。

5 提案プログラム

第1学年人間関係づくり年間指導計画

岩国市立岩国西中学校

時期	ねらい	活動内容（方法）	実施時間	学校行事
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・規則正しい生活をしよう <目標設定、振り返り> <緊張ほぐし> <感受性、非言語、自己開示> <自己開示、他者理解> <自己主張、他者理解> 	<ul style="list-style-type: none"> 学級目標設定 * シンボルマーク作り * 誕生日チェーン ファーストネームゲーム 1分間スピーチ 	<ul style="list-style-type: none"> 学活 学活 学活 夕学活 夕学活 	<ul style="list-style-type: none"> 入学式 始業式 生徒会オリエンテーション
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・自主的に学習に取り組もう <緊張ほぐし> <自己主張> <職業理解、他者理解> 	<ul style="list-style-type: none"> ジャンケン列車 * ビッグマップ ゾンビ * アポイントのロールプレイ どこに行ったのかな？ 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒集会 学活 総合 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒集会 社会見学
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・時間を有効に使おう <所属感、連帯感> 	<ul style="list-style-type: none"> かくれんぼ * 	<ul style="list-style-type: none"> 学活 	<ul style="list-style-type: none"> 総合的な学習の時間Ⅰ及びⅡスタート
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・計画を立てて実践しよう <他者理解> 	<ul style="list-style-type: none"> 意外なあなたを発見（1学期を振り返って） 	<ul style="list-style-type: none"> 学活 	<ul style="list-style-type: none"> 終業式
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・集団の役割と責任を自覚し進んで行動しよう <他者理解> 	<ul style="list-style-type: none"> 言葉の写真輝いていた君へ（総合的な学習の時間Ⅰ・Ⅱを振り返って） 	<ul style="list-style-type: none"> 総合的な学習の時間 	<ul style="list-style-type: none"> 始業式 西中祭
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・物を大切にすることを養おう <自己開示、感受性> <他者理解、信頼体検> 	<ul style="list-style-type: none"> 5枚のカードで私の幸せ その気持ちわかるよ 連想ゲーム2006 	<ul style="list-style-type: none"> 学活 生徒集会 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒集会
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・勤労に努めよう <自己理解、他者理解> 	<ul style="list-style-type: none"> 10年後の私 	<ul style="list-style-type: none"> 学活 	<ul style="list-style-type: none"> 進路学習
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・反省的態度をもとう <自己理解、他者理解> <自己理解、他者理解> 	<ul style="list-style-type: none"> 気になる自画像 君はどこかでヒーロー 	<ul style="list-style-type: none"> 学活 学活 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒会役員選挙
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな目標と強い信念をもとう <職業観、自己理解> <自己主張、傾聴訓練> 	<ul style="list-style-type: none"> 向いているのはどんな人 月世界 	<ul style="list-style-type: none"> 総合的な学習の時間 	<ul style="list-style-type: none"> 職業講話
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・機敏に行動しよう <自己開示、他者理解> 	<ul style="list-style-type: none"> 僕の夢私の夢 	<ul style="list-style-type: none"> 総合的な学習の時間 	<ul style="list-style-type: none"> 参観日
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・感謝と奉仕の生活をしよう <信頼感、連帯感> 	<ul style="list-style-type: none"> トラストウォーク 	<ul style="list-style-type: none"> 学活 	<ul style="list-style-type: none"> 卒業式 修了式

・は生徒指導年間計画上のねらい

< >は各活動のねらい

活動内容は構成的グループエンカウンターを中心にしながらAFPY（*）も採用

第2学年人間関係づくり年間指導計画

岩国市立岩国西中学校

時期	ねらい	活動内容（方法）	実施時間	学校行事
4月	・規則正しい生活をしよう ＜目標設定、振り返り＞ ＜緊張ほぐし＞ ＜感受性、非言語、自己開示＞ ＜自己主張、他者理解＞	学級目標設定 * シンボルマーク作り * ふわふわ・ちくちく言葉 1分間スピーチ	学活 学活 学活 夕学活	入学式 始業式 生徒会オリエンテーション
5月	・自主的に学習に取り組もう ＜緊張ほぐし、交流、受容＞ ＜自己主張＞	ジャンケン列車 * ビッグマップ ゾンビ * アポイントのロールプレイ	生徒集会 学活	生徒集会 社会見学
6月	・時間を有効に使おう ＜所属感、連帯感＞	かくれんぼ *	学活	総合的な学習の時間Ⅰ及びⅡスタート
7月	・計画を立てて実践しよう ＜他者理解＞	意外なあなたを発見 (1学期を振り返って)	学活	終業式
9月	・集団の役割と責任を自覚し 進んで行動しよう ＜他者理解、役割意識＞	言葉の写真輝いていた君へ (総合的な学習の時間Ⅰ・Ⅱを振り返って)	総合的な学習の時間	始業式 西中祭
10月	・物を大切にすることを養おう ＜自己受容＞ ＜他者理解、信頼体験＞	私は私が好きです なぜならば 連想ゲーム2006	学活 生徒集会	生徒集会
11月	・勤労に努めよう ＜自己主張＞ ＜自己発見、進路意識＞	アポイントのロールプレイ 職場体験で得たもの	総合的な学習の時間	職場体験
12月	・反省的態度をもとう ＜自己理解、他者理解＞	君はどこかでヒーロー	学活	生徒会役員選挙
1月	・大きな目標と強い信念をもとう ＜自己理解、他者理解＞	わたしが学校に行く理由	総合的な学習の時間	音楽祭
2月	・機敏に行動しよう ＜自己開示、他者理解＞	立志の集い 私の目標	総合的な学習の時間	参観日 立志の集い
3月	・感謝と奉仕の生活をしよう ＜感受性、自己実現＞ ＜総合演習、自己理解、他者理解、目標意識＞	2年最高、君のいいところ教えてあげる。 みんなで作ろう よりよいクラス	学活 学活	卒業式 修了式

・は生徒指導年間計画上のねらい

＜ ＞は各活動のねらい

活動内容は構成的グループエンカウンターを中心にしながらAFPY（*）も採用

第3学年人間関係づくり年間指導計画

岩国市立岩国西中学校

時期	ねらい	活動内容（方法）	実施時間	学校行事
4月	・規則正しい生活をしよう ＜目標設定や振り返り＞ ＜自己理解、他者理解、交流＞ ＜自己主張、他者理解＞	学級目標設定 * シンボルマーク作り * 1年後の友へ 1分間スピーチ	学活 学活 学活 夕学活	入学式 始業式 生徒会オリエンテーション
5月	・自主的に学習に取り組もう ＜自己理解、自己表現、自主性＞	自分探し	学活	生徒集会 修学旅行
6月	・時間を有効に使おう ＜自己主張、感情表現、話し合い＞ ＜自己決定、合意形成＞	ぼくらの先生 GWT SOS～砂漠でサバイバル	学活 学活	総合的な学習の時間Ⅰ 及びNスタート
7月	・計画を立てて実践しよう ＜自己決定、役割意識＞	ぼくらのリーダー GWT	学活	終業式
9月	・集団の役割と責任を自覚し 進んで行動しよう ＜役割意識、話し合い＞	言葉の写真輝いていた君へ （総合的な学習の時間Ⅰ・Nを振り返って）	総合的な学習の時間	始業式 西中祭
10月	・物を大切にすることを養おう ＜自己理解、他者理解＞ ＜他者理解、信頼体検＞	魔王の関所 連想ゲーム2006	学活 生徒集会	生徒集会
11月	・勤労に努めよう ＜自己受容＞	気になることすっきり	学活	進路相談
12月	・反省的態度をもとう ＜自己主張＞	模擬面接	学活	生徒会 役員選挙
1月	・大きな目標と強い信念をもとう ＜自己受容＞	内観	学活	私立入試
2月	・機敏に行動しよう ＜自己盲点、他者理解＞	無くて七癖	学活	参観日 推薦入試
3月	・感謝と奉仕の生活をしよう ＜感受性、創造性、総合演習＞ ＜感受性＞	別れの花束 思い出を歌おう	学活 学活	公立入試 卒業式

・は生徒指導年間計画上のねらい

＜ ＞は各活動のねらい

活動内容は構成的グループエンカウンターを中心にしながらAFPY（*）も採用

『参考文献』

GWTは坂野公信「学校グループワークトレーニング」 遊戯社

國分康孝「エンカウンターで学級が変わる中学校編」 図書文化社

國分康孝「エンカウンターで学級が変わる中学校編」 パート2、3 図書文化社

國分康孝「エンカウンターで学級が変わる」 ショートエクササイズ集 図書文化社

國分康孝「エンカウンターで学級が変わる」 ショートエクササイズ集パート2 図書文化社

